

「森町ゆかりの偉人」紹介動画

森町公式YouTubeチャンネルにて公開中 🔍「森町公式 動画」で検索
鈴木藤三郎と藤江勝太郎の歩みを、ぜひご覧ください

森町が生んだ近代日本産業の先駆者
「日本製糖業の父」「台湾製糖初代社長」

すず き とう ざぶろう

鈴木藤三郎



鈴木藤三郎(1855～1913)は、森町本町出身の実業家、発明家、政治家。明治時代に報徳の教えの影響を受けて森町で氷砂糖の製法を発明し、東京で日本初の精製糖事業を興した。後に台湾製糖株式会社の初代社長を務め「日本製糖業の父」「発明王」と呼ばれる近代日本産業の先駆者。

明治時代に日本と台湾の
烏龍茶・紅茶産業の発展に尽力した

ふじ え かつ た ろう

藤江勝太郎



藤江勝太郎(1865～1943)は、森町城下出身の茶商、台湾総督府技師、森町長。明治時代に静岡県内で初めて烏龍茶を製造し、日本に烏龍茶の製法を広めた。その後台湾に渡り、台湾総督府の技師として台湾茶業(烏龍茶・紅茶)の近代化、発展に尽力し「烏龍茶といえば藤江技師」と言われた。帰国後は森町名誉町長を務めた。



お問い合わせ先: 静岡県 森町教育委員会 社会教育課 文化振興係 ☎ 0538-85-1114